

(公社) 北海道トラック協会

セーフティ通信

～ストップ・ザ・交通事故～

トレーラーによる小6女児死亡ひき逃げ事件 ～トレーラー運転手の呼気からアルコール～

令和元年8月8日午後5時すぎ、大阪府堺市堺区の交差点で、左折しようとした大型トレーラーが、横断中の小6女子児童をはね、そのまま逃走したひき逃げ事件があり、警察は大阪府住之江区のフェリーターミナルの車内で寝ていた、愛媛県居住の運転者(男・34歳)を逮捕しました。(飲酒運転が判明)

※ 事業用トラックによる、飲酒運転、ひき逃げ事件等は、社会的反響が大きく、トラック運送業界全体の社会的信用が失われることとなります。

○ 近年事業用トラックの飲酒運転事故が増加傾向にあり、今年に入り、北海道を含め飲酒運転事故が続発し、再発防止を講じている最中に、上記運送事業者の大型トレーラーによる飲酒ひき逃げ死亡事件が発生しました。

○ トラック運送業界は、これまで築き上げた社会的信頼を揺がす、極めて危機的状況にあります。

○ これまでの、全国事故事例等から、特にトラック運転手によるフェリー内における飲酒が常態化しているとの背景が指摘されています。

飲酒運転は反社会的行為！

【事業者・管理者の皆さんへ】

- 1 乗務前、乗務後、アルコール検知器による酒気帯びのチェックを確実に実施して下さい。
- 2 酒気帯びの確認を確実にできるような体制や機器の状況を点検するとともに必要に応じ、見直しや改善を行って下さい。
- 3 飲酒が運転に及ぼす危険性、アルコール分解の誤った知識の排除、飲酒運転の重い代償について繰り返し運転者教育を行って下さい。
- 4 「飲酒運転防止対策マニュアル」(全ト協作成)を活用し、アルコール検知器の携行、酒気帯びの有無の測定方法及び測定結果の確実な報告等について、運転者への指導を徹底して下さい。
- 5 交通安全運動等の機会をとらえ、飲酒運転事故事例を周知するなどして、飲酒運転根絶意識の徹底を図って下さい。

飲酒運転 **しない** ・ **させない** ・ **許さない** !

自分たちの職場や仲間から飲酒運転者を出さない